

昭和56年度施政方針

昭和 5 6 年度施政方針

昭和 5 6 年第 1 回定例議会を開催するにあたり、私の新年度の市政運営にあたっての考えと、施策の大綱について申し述べさせていただきたいと存じます。

私は、昨年 5 月市長に就任し、1 年間市政を担当させていただきましたが、ふり返ってみますと、昨年は、経済、物価、エネルギー問題など様々な問題が山積し、国、都を問わず、各般の情勢は極めて厳しい年でありました。このような状況の中であって、当市は議員各位をはじめ、市民の皆様の深い御理解と御協力によりまして、堅実な財政基調を維持しつつ、順調なペースで市政運営を進めることができました。また市民の心の支えとなる市民憲章や市の歌もでき、市制 10 周年を記念すべき年にふさわしい極めて充実した年であったと思います。これもひとえに議員各位並びに市民各位の深い御理解と御協力のたまものと心から感謝申し上げる次第であります。

新年度は更に市民福祉の向上をめざし、私は都市基盤の整備、教育文化施設の充実等に全力を尽すとともに、快適な市民生活を築くための施策にも力を注いでまいりたいと存じます。

また本年は国際障害者年であります。

私から申し上げるまでもなく、国際障害者年の目的は、障害を持つ人の社会への「完全参加と平等」という目標の実現を促進することであり、我が国においても、国、地方自治体をはじめ民間団体等により、これらの目標に向って様々な事務事業を計画し取り組んでいるところでありますが、当市にあっても、関係団体等の御協力をいただき、障害者の生活実習訓練施設の開設等、積極的に取り組んでまいり所存であります。

しかしながら、御承知のとおり、国、都の財政状況は極めて厳しく、新年度の予算編成をみましても緊縮型の予算で、当市への影響もより一層の厳しさが予測されてまいります。こうした厳しい状況の中で自主財源に乏しい当市にあっては、国、都に対し補助金等の財源確保と受益者負担の適正化等による収入の確保を図り、更に冗費の節減、経常的経費の見直し等、一層の経営努力をし

てまいり、限られた貴重な財源を計画的、効率的に運用し、活力ある行政運営を図ってまいりたいと思います。

次に、昭和56年度の施策の概要について申し述べさせていただきます。予算総額は、一般・特別会計・受託水道会計を合わせますと145億8,204万2,000円ですが、このうち一般会計は101億8,087万2,000円で前年に比べ5.7パーセント増と、前年度の伸び率に比べ、低い伸び率であります。

これは、昨年度は市営住宅、加美平学供等普通建設事業費が前年比8.4パーセントの伸び率であったのに比べ、今年度は既に、学供等の建設計画が完了し、建設事業費が逆に7.7パーセントの減額になったからであります。

以下、福生市基本構想に基づき、3本の柱にそってその主たる事務事業につきまして申し上げます。

最初に「健康で幸せな市民生活をまもるため」の施策といたしまして、公共下水道事業、西住宅地区周辺排水路整備事業等の生活環境整備事業は継続し、積極的に推進してまいります。また、交通安全施策としては、道路照明灯や道路反射鏡など、現在年次計画で整備しておりますが、新年度も整備拡充を図ってまいります。防災施策としては、第4分団の消防車庫の建替え、災害対策用備蓄庫の建設及び耐震性貯水槽の新設など実施してまいります。ゴミ対策施策としては、市民のゴミ減量思想の普及に努めていく一方、埋め立て量の減少化を図り、埋め立て地を効率的に活用するため、粗大ゴミ焼却炉を設置してまいります。社会福祉施策としては、さきほど申し上げました通り国際障害者年の事業として、障害者の生活実習訓練室を新たに設置してまいりますとともに、水泳教室や小学校の特殊教育施設の整備拡充などを推進してまいります。

なお、社会福祉の給付施策についても、極めて厳しい財政事情ではありますが、前年度並みの水準は維持してまいりたいと考えております。

次に「魅力あふれる住みよいまちにするため」の施策といたしましては、現在進めております福生駅東口土地区画整理事業を年度内完成をめざし、努力してまいりたいと存じます。また、福生駅西口周辺地区再開発事業につきまして

は、昭和54年に商工会のお骨おりで、地元協議会が実施した「現況調査」、続く昭和55年の説明会、相談室、意向調査の実施など、こうした地元協議会の積極的な姿勢にこたえるためにも、十分な調査をして、具体的な実施計画案を作成し、関係者に内容の理解を深めていただいたうえで、事業決定の賛否を問うことが最も重要であると考えますので、予算を計上させていただき、調査を実施してまいりたいと存じます。道路整備については、新年度も生活関連道路を重点に新設、改良工事を進めてまいります。また、私道の整備については比較的公共性の高いところを中心に、積極的に整備を図ってまいりたいと考えております。公園・緑地施策としては、福生武蔵野地区に55年度から3か年計画で近隣公園を建設してまいります。新年度もその用地の一部を買収してまいります。また、加美地区にあります多摩川の河川敷にも公園を設置し、整備してまいります。緑地については、加美緑地用地を新年度から5か年計画で買収し、整備を進めてまいりたいと考えております。

さらに「豊かな人間性と文化を育てるため」の施策としまして、社会教育施策においては、市営プールの管理棟の建設や市民体育館改修工事等、社会体育施設の整備を図る一方、市民スポーツの振興にも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。また、市民文化施設を通じ、市民の教育文化活動をより一層活発にし、内容の充実にも努めてまいりたいと存じます。学校教育施策としては、一小特殊教室の新設及び七小・三中の校舎の増築、二小講堂の建替え、三小校舎の除湿工事、四小プールの改修等、施設整備の拡充を図っていくとともに、新たな施策として小中学校の修学旅行費についても、少しでも父兄負担の軽減を図るため、一部助成金を支給してまいります。

以上、昭和56年度の主たる施策について申し上げましたが、現下の社会情勢をみますと、新年度も地方自治体を取りまく諸情勢は極めて厳しく、行財政運営は一層の難しさが予測されますので、施策の厳選をし、財源確保に努め、市民の声を最大限に反映した行政運営を推進し、市民福祉の向上を図ってまいりたいと思います。

終わりにのぞみ、議員各位並びに市民各位の御理解と御協力を切にお願いい

たしまして、私の所信の発表を終わらせていただきます。